

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1190号	氏名	岩永喜久子
論文審査担当者		主査教授	相川 忠臣
		副査教授	田口 尚
		副査教授	金武 洋
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は、血管拡張作用を持つアドレノメデュリンとグレリンが透析患者における持続性及び一過性低血圧に関連していることを明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 長崎市内における透析患者を、持続性低血圧群、一過性低血圧群、正常血圧群の3群に分け血圧低下率を求めて、透析直前のアドレノメデュリンとグレリンの血漿濃度との関連を統計的に解析したものであり、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3. 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、持続性低血圧においてアドレノメデュリン血漿濃度が有意に上昇していること、さらに一過性低血圧の血圧下降率にアドレノメデュリンとグレリンの両者の血漿濃度上昇が有意に相関していることを明らかにした。血管拡張作用を持つ両物質の増加が透析患者の低血圧に関与しているという結果は、透析患者のショックを避ける看護サイドの指標としての両物質の有用性を示唆するだけでなく、今後の治療の発展に寄与するものと期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は、透析患者における持続性及び一過性低血圧の原因解明、治療・看護法の確立に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。